H31春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

早月加積地区

提言等の項目	H31春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①若者への支援	滑川市は子育て支援に力を入れているが、子どもを産んでもらうためには、若者が地元の地域で生きていこうと思えるようにならないといけないと思う。結婚をしない若者の増加や、青年団等の若者の集まりの減少などの問題もある。そういった問題について、市はどのように考えているのか。	市では、子どもたちに出産や子育てについて考えてもらう「命の授業」や独身の男女に出会いの場を提供する「婚活事業」等を実施しています。結婚に関する価値観は人それぞれなので、即効性はありませんが、根気強く取り組んでいかなければならないと考えています。また、青年層に地元企業の説明会を開催するなど、滑川市へのUターンを促す施策も実施しています。今後も若い方に滑川市を支えてもらえるような施策を実施していきたいと考えています。
②歩道の設置	市道柳原中村線と県道栗山追分線の交差点の歩道は、家一軒分未整備の状態である。今年度の道路整備の予定に入っていないが、今後の整備の予定はあるのか。	ご提言の道路につきましては、歩道整備を行った当時、地権者の同意が得られなかったため、今のような状態になっています。市としても、危険な状態であることは認識していますので、今後町内会と調整して、解決したいと考えています。
③公園の維持管理	公園の維持管理については業者に委託していると思うが、市の公園を一括して一つの業者に委託しているのか、複数の業者に委託しているのか教えてほしい。一つの業者にまとめて委託した方が、委託費も安く済むのではないのか。	都市公園等の維持管理は、専門業者に委託しています。一事業者あたり3～4カ所の公園の樹木の剪定や除草、芝生管理などを3年契約で委託しています。また、シルバー人材センターに毎日公園を巡視していただき、簡単な清掃や修繕などをお願いしています。市内には約30カ所の公園があり、一事業者に委託するには数が多いので、複数に分けて委託するのが妥当と考えています。

H31春に開催の「市長と語る会」での提言等と回答要旨について

早月加積地区

提言等の項目	H31春に開催の「市長と語る会」	
	皆様からいただいた主な提言等	その際の回答要旨
④食育	食育の本来の目的とはどのようなものか。滑川市は地産地消を推奨しているが、食育にはもっと本質的な意味があるのか。	食育とは、知育・体育・徳育を支えるもので、単に食べることだけではなく、メタボリックシンドロームや口腔衛生など食に関すること全てが食育に繋がっています。特に、学校では栄養素のバランスを教え、自分の体を作っていく食についての教育を行っています。滑川市は、県内でも先行して食育を実施しており、学校給食での地場産食材の利用は、県の平均が約20%のところ、滑川市では5年連続で50%を超えています。学校給食共同調理場は平成24年から7年連続で県の表彰を受けており、平成29・30年は北陸農政局からも表彰を受けています。調理員についても、平成26年から4年連続で表彰を受けています。
⑤市長と語る会	市長と語る会が始まって10年が経過したが、管理職が並んでいると参加しにくいという話も聞く。市当局の人数を減らしても、十分に市民の意見を聞くことはできると思うので、新しいスタイルの市長と語る会を実施してはどうか。	幹部職員に出席してもらっているのは、自分の担当について回答するだけでなく、担当以外の市民のご意見も聞いてもらいたいと考えているからです。滑川市の語る会は、事前に質問を集めていないので、遠慮のない意見をいただいています。市民のご意見を職員全員で共有することにより、明日からのサービスに活かしていきたいと考えています。
⑥民生委員の報酬	民生委員のなり手がいない。民生委員は無報酬で、活動に必要な経費しか支給されないが、無報酬でなければならない決まりがあるのか。大変な仕事なので、市から補助という形で報酬を出すことはできないのか。	民生委員の報酬は民生委員法に無報酬と定められています。滑川市では、ガソリン代など活動に必要な実費について、県の基準額に1万円上乗せしてお支払しています。民生委員の役割も時代の変化に伴い重くなっているとは思いますが、協力をお願いしたいと思います。
⑦富山湾岸クルージング	富山湾岸クルージングについて、今シーズンから氷見への航路が運航可能になったとのことだが、氷見航路を利用する際は、事前の申込みが必要なのか。また、氷見まで船に乗っていった場合、滞在している間、氷見で待機していただけるのか。	観光遊覧船「キラリン」は、滑川市でのクルージングがメインのため、氷見への運航は、事前に予約の上、ご利用いただきたいと思います。料金につきましては、氷見まで往復で2時間かかるため、最低でも半日の貸切料金になるかと思えます。氷見までの片道利用や、船で氷見へ行き、氷見市内をバスで観光し、船で滑川へ戻るツアー等も検討しており、詳細については、早めに皆様にお知らせしたいと思います。